

原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。

以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

氏名	住所

【取り扱い団体】

原発ゼロ署名にご協力下さい

【お願い】 お手数ですが、この署名はお近くの日本共産党事務所やお知り合いの日本共産党員にお届けいただくか、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所へファクス（06-6764-9115）いただければ幸いです。

やらせ問題 真相究明を

「安全神話」はこうしてつくられた



▲「やらせ問題」を報じる各紙

九州電力による「やらせメール」に端を発した「やらせ問題」は次つぎ拡大。原子力の「規制機関」であるはずの経産省原子力安全・保安院が、国主催のシンポで原発賛成の質問を要請していたことまで明らかになりました。国と電力会社一体の世論操作——。日本共産党は、関係者を国会に招致し、徹底して真相を究明することを求めます。

一連の事態は、『安全神話』はこうしてつくられた」と思わせる内容。今後のエネルギー政策をどうするかを国民的に議論するうえでも、正直でウソをつかない政治にすることが必要です。



ウソをつかない政治に

近畿民報

発行／日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2011年8月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目
15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上の見解を発表しました。